

宅 地 概 要（第一次スクリーニング結果）												
盛土番号	村田町_2	宅地名			造成(許可)年代	昭和50年						
所在地住所	村田字川畑地内											
盛土形式	☒ 人工造成地 （ ☒ 谷埋め型 ☐ 腹付け型 ） ☐ 自然斜面											
盛土形状	盛土面積A	31,429	m ²	盛土幅W	74.9	m	盛土距離d	85.1	m	天端幅(腹付け型)L	-	m
	盛土高さH	7.0		盛土厚さD	-	m	原地盤勾配θ	4.7	°			
宅 地 概 要（第二次スクリーニング計画の作成）												
優先度評価項目					判 定（ 記 事 ）							
①	盛土および擁壁の形状と構造が標準的な形状と構造に該当				☐ 非該当 ☒ 該当		(標準構造に該当)					
②	宅地地盤・擁壁・のり面の変状				☐ 有 ☒ 無		(変状 無)					
③	地下水				☐ 有 ☐ 無 ☒ 可能性有		(可能性 可能性有)					
④	盛土の下不安定な土層				☐ 有 ☐ 無 ☒ 不明		(不安定な土層 不明)					
⑤	造成年代 (基準年以前／後)				☒ 以前 ☐ 後		(基準年:昭和50年)					
⑥	変動確率				☐ 大 ☒ 小		(方式1 20点)					
【総評】	末端部のり面下の腰止め擁壁に染出しが確認されることから湧水可能性有とした。(写真24～27) 末端部北側では二段擁壁が確認されるが、盛土全体の滑動崩落を示唆する変状ではない。 今後、経過観察(地震時、大雨時、定期点検)を進め、活動崩落を示唆する変状が現れた際には、第二次スクリーニングの実施が望ましい。					想定被害形態						
						すべり変形						
						優先度						
						B1						
宅 地 概 要（第二次スクリーニング）												
【地盤定数】						【安定計算結果】						
		代表N値	単位体積重量 (kN/m ³)	粘着力 (kN/m ²)	内部摩擦角 (°)	せん断波速度 (m/s)			常時	地震時		
【総評】						変動予測調査後						
						【工事の記録】						
					【点検の記録】							

【位置図】

【断面図】

【工事の記録】

【点検の記録】

基礎資料整理				現地踏査										
チェック項目		判定(記事)		調査日時		天気記録		調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前	
保全対象	・住宅	☒ 有	☐ 無 (15)軒 ()	2022年10月18日 14:00		降水量(mm)		0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	・公共施設等	☐ 有	☒ 無	☐ 避難所 ()	・宅地内の平面図との相違		☐ 有	☒ 無	()					
				☐ 緊急輸送路 ()	・盛土形状の机上調査との相違		☐ 有	☒ 無	()					
				☐ 河川 ()	・盛土末端部の状況		—		☒ のり面 ☐ 擁壁 ☐ すりつき ()					
				☐ 鉄道 ()	土質 地質	・原地盤材料の確認	☐ 有	☒ 無	☐ 礫質土	☐ 砂質土	☐ 粘性土	☐ 岩盤 ()		
各種指定	・各種指定の有無	☐ 有	☒ 無	☐ 宅地造成工事規制区域	☐ 災害危険区域	☐ 人口集中地区DID	・盛土材料の確認	☐ 有	☒ 無	☐ 礫質土	☐ 砂質土	☐ 粘性土 ()		
				☐ 土砂災害特別警戒区域 若しくは土砂災害警戒区域	☐ 急傾斜地崩壊危険区域		・既往調査の資料	☐ 有	☒ 無	()				
				☐ 砂防指定地	☐ 地すべり防止区域		・その他特記事項	—		()				
その他	・その他特記事項	— ()		優先度評価項目		判定(記事)								
						① 形盛土とお構よ造び擁壁の	・盛土のり面勾配	☐ 急	☒ 適	勾配(1: 1.73) (30° 標準構造に該当)				
						状宅地地盤・擁壁・のり面の変	・小段の設置	☐ 不適	☒ 適	高さ(4.0)m、段数(0)段、()				
							・のり面保護工の設置	☐ 不適	☒ 適	(緑化工あり)				
							・ひな壇部分の傾斜	☐ 急	☒ 適	傾斜角()° (ひな壇なし)				
							・擁壁構造の適格性	☐ 不適	☒ 適	☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ 無筋コンクリート造 ☐ 練積造 ☐ その他() 高さ()m、壁面勾配(1:) (擁壁構造ではない)				
							・その他特記事項	—		()				
						② 宅地地盤・亀裂、沈下、隆起	・擁壁とその基礎の変状	☐ 有	☒ 無	(擁壁に小規模の亀裂あり(写真7・8・16))				
							・擁壁背面の変状	☐ 有	☒ 無	()				
							・擁壁の補修履歴	☐ 有	☒ 無	()				
							・ガリ侵食跡	☐ 有	☒ 無	()				
							・表面の不陸又は凹凸	☐ 有	☒ 無	()				
							・亀裂	☐ 有	☒ 無	()				
							・排水工の変状	☐ 有	☒ 無	()				
							・災害痕跡	☐ 有	☒ 無	()				
							・根曲がり	☐ 有	☒ 無	()				
							・道路の変状	☐ 有	☒ 無	(路面に小規模の亀裂あり(写真2))				
						・その他特記事項	—		()					
						③ 地下水	・盛土のり面からの湧水	☐ 有	☐ 可能性有	☒ 無	()			
							・擁壁水抜き穴からの恒常的な出水	☐ 有	☒ 可能性有	☐ 無	(擁壁水抜き穴からの染出しあり(写真24～27))			
							・ひな壇部分の擁壁前面部の出水	☐ 有	☐ 可能性有	☒ 無	()			
							・排水工や擁壁の恒常的な湿り	☐ 有	☐ 可能性有	☒ 無	()			
							・盛土のり尻排水工の水没	☐ 有	☐ 可能性有	☒ 無	()			
							・排水工の目地・亀裂からの地下浸水	☐ 有	☒ 無	()				
							・盛土のり尻のため池等の満水水位	☐ 有	☐ 無	(該当しない)				
							・既存井戸水位	☐ 有	☐ 無	(該当しない)				
							・盛土のり尻の調整池・ため池	☐ 可能性有	☐ 無	(該当しない)				
							・集水地形上の盛土	☐ 可能性有	☐ 無	(該当しない)				
						④ 土盛層土下態	・盛土上ガレージの湿り	☐ 可能性有	☒ 無	()				
							・水を好む植生の有無	☐ 可能性有	☒ 無	()				
							・その他特記事項	—		()				
							・盛土周辺の崖錐、崩積土	☐ 有	☐ 無	☒ 不明	()			
							・盛土周辺の沖積粘性土	☐ 有	☐ 無	☒ 不明	()			
							・盛土周辺の沖積飽和砂質土	☐ 有	☐ 無	☒ 不明	()			
							・その他特記事項	—		()				
							末端部のり面下の腰止め擁壁に染出しが確認されることから湧水可能性有とした。(写真24～27) 末端部北側では二段擁壁が確認されるが、盛土全体の滑動崩落を示唆する変状ではない。 今後、経過観察(地震時、大雨時、定期点検)を進め、活動崩落を示唆する変状が現れた際には、第二次スクリーニングの実施が望ましい。							
							被害形態							
							すべり変形							
						優先度								
						B1								

【平面図】



写真1 上流部道路の状況



写真2 上流部路面に小規模の亀裂あり



写真3 上流部道路と擁壁の状況



写真4 中流部道路とのり面の状況



写真5 中流部道路とのり面の状況



写真6 中流部道路の状況



写真7 下流部擁壁に小規模の亀裂あり



写真8 下流部擁壁に小規模の亀裂あり



写真9 下流部擁壁とのり面の状況



写真10 下流部擁壁の水抜き穴からの出水跡あり



写真11 下流部のり面の状況



写真12 下流部擁壁とのり面の状況

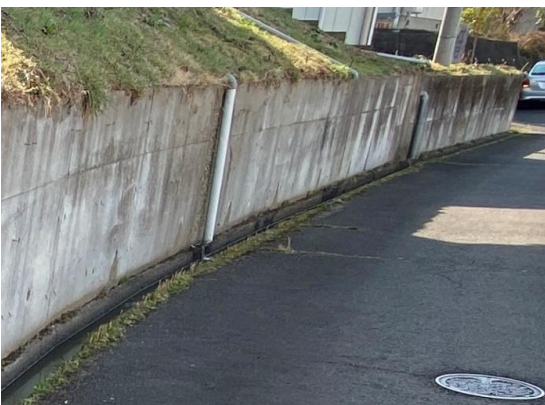


写真13 擁壁下部に染出しを確認



写真14 下流部道路と擁壁の状況



写真15 下流部道路の状況



写真16 下流部擁壁に小規模の亀裂あり



写真17 下流部道路と擁壁の状況



写真18 下流部宅地に状況



写真19 中流部道路と側溝の状況



写真20 中流部道路と擁壁の状況



写真21 中流部道路の状況



写真22 上流部道路の状況



写真23 上流部道路と擁壁の状況



写真24 写真24下部の排水溝の滞水状況



写真25 末端部河川の状況

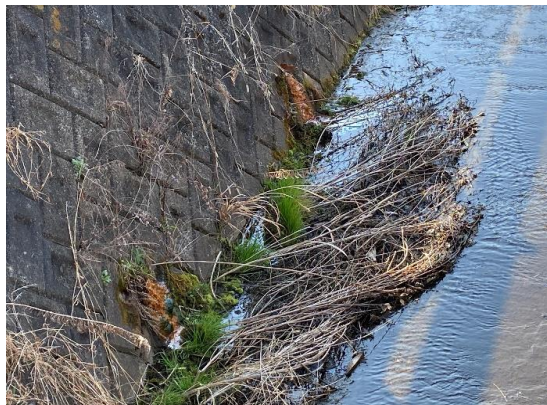


写真26 河川護岸の水抜き穴より固形物の流出
(鉄バクテリアと思われる)